

鎌倉 パートナーズ



(薪能 / 西畑直樹)

鎌倉市市民活動センター 広報紙 第88号 平成30年9月発行 (季刊)

発行／編集：鎌倉市市民活動センター

<http://npo-kama.sakura.ne.jp/ce/index.html>

リレートーク No8

こんな市民活動しています！

～ そうじはこころの修行 ～



山村 みや子さん

常盤道普請の会 代表

<http://consumer.sakura.ne.jp/>

リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。是非、お知らせください。

当会は市内に11団体ある鎌倉市アダプト・プログラム※団体の一つです。昨年11月に鎌倉市が「アダプト・プログラムの活動とその将来」と題してまちの美化推進シンポジウムを開催しました。アダプト・プログラムには自治町内会の縛りがなく自由に活動できる利点もあるので、仕組みを知っていただき、個性的なまち美化プログラムを作っていただけたらと思います。

活動範囲は常盤市役所通り約500mです。定例活動への年間参加者250人、枯葉等回収ごみ450袋(450)、タバコの吸い殻中心の日常のごみ拾い、ふとんなど不法投棄ごみの片づけも行うので、景観は一年を通して落ち着いています。捨てられたらすぐに片付けるという原則を貫きます。地元常盤町内会や沿線事業者さんとの連携も進むほか、最近は常盤近隣から落ち葉掃きやごみ拾いを手伝ってくださる市民も現れ、昨日まであったごみがいつのまにかなくなっている瞬間に出会うと本当にうれしくなります。汚れた生活道路というイメージを払拭したくて始めた活動ですが、発足から12年、現在の常盤市役所通りは修学旅行生や外国人観光客も行き交う美しい道になりました。

さて、美化活動と言えばトングを持って、缶やビン、燃えるごみを拾う程度を想像するかもしれませんが、それだけではないという事例を紹介します。ここ常盤の谷戸地域には古都法や風致地区条例に守られた歴史的景観があるはずですが、大仏ハイキングコース近くの古道でコンテナや重機などの大型不法投棄ごみに遭遇した時は愕然としました。世界遺産登録を控えた頃で、鎌倉市環境保全課が早々に片付けましたが、当会の通報や協力がなければ環境汚染は続いていました。

参加会員の顔ぶれは変わっても、泥ぼりをかぶり、這いつくばって草を抜く会員への敬意をいつも忘れずに、淡々とこの活動を続けることを私自身の目標にしています。

ついでながら、私は若宮大路の松並木保全活動と常盤山での里山樹林保全活動にも参加していて、いつも写真のような姿をしています。

※アダプト・プログラム…市民と行政が協働で進める清掃活動をベースとしたまち美化プログラムのこと

